

アグロフォレストリーに関するシンポジウム(地域及び地球規模の持続可能な発展に向けた意義と可能性)

＜日時＞ 平成21年12月16日(水曜日)13時00分～18時00分(12時00分受付開始)

＜会場＞ 国連大学 ウ・タント国際会議場 (東京都渋谷区神宮前5-53-70)

＜主催＞ 国連大学サステナビリティと平和研究所、国連大学高等研究所

＜共催＞ 外務省、農林水産省、環境省

＜後援＞ 独立行政法人国際協力機構(JICA)、独立行政法人国際農林水産業研究センター、独立行政法人森林総合研究所

＜協賛＞ 明治製菓株式会社、株式会社フルッタフルッタ

＜プログラム＞ 別添

＜定員＞ 250名

＜入場料＞ 無料(下記の要領で事前の申し込みが必要です。)

＜申し込み＞ Eメールで受け付けます。締め切りは12月9日(水)です。件名に「12/16 アグロフォレストリーに関するシンポジウム」と記入し、本文に氏名、住所、所属機関、連絡先:Eメールアドレス、電話番号を明記して reception@ias.unu.edu 宛にご送信ください。

※会場には駐車場がありませんのでお越しの際は公共交通機関をご利用ください。

＜お問い合わせ＞ 国連大学高等研究所(担当:平野) 045-221-2300

外務省中南米局南米課(担当:星野、双津) 03-5501-8286

＜アグロフォレストリーに関するシンポジウム プログラム＞

※シンポジウムの内容は今後変更になる可能性があります。(最新の内容は随時ウェブサイトに掲載します。)

時間	予定
13 時 00 分～13 時 25 分	開会の辞
13 時 30 分～14 時 15 分	第1セッション :「アグロフォレストリーの今日的意義」 ・ 武内 和彦 国連大学副学長(アグロフォレストリーの意義と里山) ・ デニス・ギャリティ 国際アグロフォレストリー研究所所長(第2回アグロフォレストリー世界会議の結果等) ・ 名執 芳博 国連大学高等研究所上席研究員(SATOYAMA イニシアティブについて)
14 時 20 分～16 時 00 分	第2セッション :「アグロフォレストリーのグッドプラクティス」 ・ ミチノリ・コナガノ トメアス市前農務・観光・環境局長(ブラジルでの事例:持続可能な農業) ・ 長澤 誠 株式会社フルッタフルッタ代表(ブラジルでの事例関連:企業の視点) ・ 荒森 幾雄 明治製菓株式会社常務執行役員 (ブラジルでの事例関連:企業の視点) ・ ファムディン・アグス インドネシア国立土壌研究所上席研究員(インドネシアでの事例:流域管理のためのPES) ・ 中村 松三 森林総合研究所九州支所長(マレーシアでの事例:熱帯林の再生) ・ 松原 英治 国際農林水産業研究センター統括調査役(パラグアイでの事例:CDM の活用)
16 時 00 分～16 時 20 分	コーヒーブレイク
16 時 20 分～18 時 00 分	第3セッション :「アグロフォレストリーの今後の可能性」 ・ 武内 和彦 国連大学副学長(モデレーター) ・ 山田 祐彰 東京農工大学講師(冒頭コメント)

時間	予定
	・ 井上 真 東京大学教授(冒頭コメント) ・ 宮藺 浩樹 独立行政法人国際協力機構地球環境部技術審議役(冒頭コメント) ・ 横田 雅史 特定非営利活動法人 HANDS 事務局長(冒頭コメント) ・ デニス・ギャリティ 国際アグロフォレストリー研究所所長 ・ ミチノリ・コナガノ トメアス市前農務・観光・環境局長 ・ ファムディン・アグス インドネシア国立土壌研究所上席研究員 ・ 荒森 幾雄 明治製菓株式会社常務執行役員 ・ 長澤 誠 株式会社フルッタフルッタ代表 ・ 中村 松三 独立行政法人森林総合研究所九州支所長 ・ 松原 英治 独立行政法人国際農林水産業研究センター統括調査役
18 時 00 分～19 時 00 分	レセプション